

# 年末寄付 100人 キャンペーン

## OurPlanet-TV

じぶんたちで そだてる つながる メディア



### 理事からのメッセージ

OurPlanet-TVは2001年に活動を開始した非営利のインターネットメディアです。真のジャーナリズムを実践するため、みなさまからのご寄付によって取材・運営をしています。独立系メディアのこれからの未来を支えるために、ご寄付にご協力ください！



橋爪 明日香  
(メディアクリエイター)

以前、韓国へ市民活動の視察に伺った際に、「私たちは、民主主義のために財布をひっくり返す」という言葉があると聞きました。残念ながら今の日本も、自らの懐を痛めずには、小さな声を聞き、正しい情報を得ることは、難しくなっているように感じます。私も(軽い)財布から1万円を寄付しました。アプラは、声を届けようとする人、そしてその声に耳を傾ける皆さまと共に、歩んでいきます。



永田 賢介  
(認定NPO法人アカツキ)

私は15年ほど前にアプラのワークショップに通いました。ドキュメンタリーのテーマを決め、構想を試行錯誤し、取材依頼をして撮影し、素材を編集してタイトルを決めるという作業は、とても新鮮で難しく魅力的な経験でした。社会のどの一部に目を留めてメッセージを載せるか。アプラはそんな難しくも重要な営みを長年続けています。その意義に共感してサポートを続ける方が大勢います。その仲間になっていただけると嬉しいです。



井桁 大介  
(弁護士)

OurPlanet-TV代表の白石草さんは、小さな声に寄り添い、メディアの在り方を問い続けて活動しています。「寄り添う」という言葉、いろいろな団体が使いますが、時折、寄り添うために「押しかけ」ているメディアもあるなか、白石さんのもとには、小さな声を聴いてほしいという人たちが集まってこられます。求められて出かけているOurPlanet-TVです。



松浦さと子  
(龍谷大学政策学部教授)

個人メディアとマスメディアとの乖離が大きくなってきた今、その中間に当たる存在としての役割を果たしつつ、同時に個人の映像記録の集積場所としての役割も受け持つ、そんな場所になっていきたいと思っています。皆さまのご協力、よろしくお願ひします。



大槻 貴宏  
(ポレポレ東中野代表)



毛利 嘉孝  
(東京藝術大学大学院教授)

インターネット、特に最近のSNS普及は、ニュースのあり方をすっかりと変えてしまった。専門家でない市民の誰もが発信者になる時代が到来したのだ。けれども、同時に国家や大企業にとっても今やネットはイメージや情報操作の重要な場である。フェイクニュースやヘイトスピーチもネットに溢れている。こういう時代だからこそ、アプラのような独立系の市民ジャーナリズムが果たす役割は極めて大きい。ぜひ応援してほしい。

「どんなに小さな声も聞き逃さない」それがOurPlanet-TVの使命です。SNSなどインターネットメディアでの情報発信が増殖する一方で、本当に耳を傾けなければいけない人々の声が、時に横暴で非道なノイズによってかき消されてしまっている現状に大きな危機感を抱いています。OurPlanet-TVが存在しうるのは、あなたの支えがあってこそ。心より感謝申し上げます。



稲熊 伸治  
(クリエイティブディレクター)

設立当初からインターネットを通じた動画配信の可能性に注目し、人々の声を集め、社会の矛盾に光を当て続けてきたことに深い感慨を覚えます。今後も、市民からの貴重なフィードバックを大切にしながら、風通しのよい社会の実現に向けて歩みを止めることなく努力し続けましょう。



浜田 忠久  
(JCAFE代表)

アプラができた頃、ネットの動画配信は、画期的な取り組みだった。あれから20年、個人が気軽にSNSで動画を投稿し、ネット媒体が既存のマスメディアを超える力をもちつつある。情報が溢れる時代だからこそ、その物差しが欲しい。アプラは、その役割を担うメディアを目指し、たとえ目の目を見なくても、伝えられるべきを伝え続けます。皆様の熱い応援とご協力、そしてご参加をお待ちしております！



近藤 剛  
(映像ディレクター)